

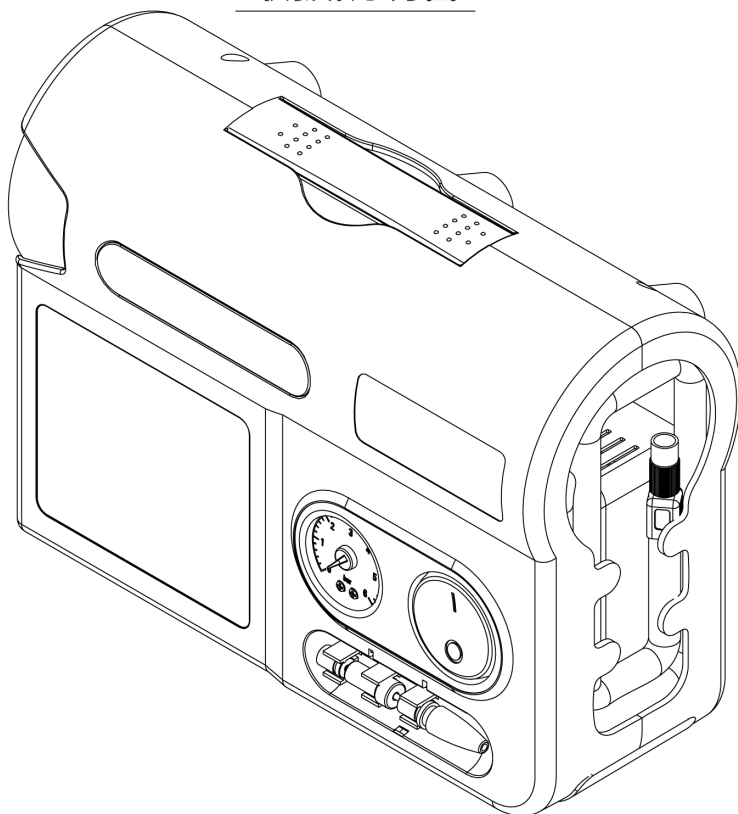
Lehrmeister[®]

Pro ResQ

TIRE REPAIR KIT

by *airMAN*[®]

取扱説明書



目次

- | | | | |
|--|--------|--------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> はじめに / 安全に使用するために | ・・・ P1 | <input type="checkbox"/> 製品説明 | ・・・ P4 |
| <input type="checkbox"/> 使用可能タイヤについて | ・・・ P2 | <input type="checkbox"/> 使用方法 | ・・・ P5 |
| <input type="checkbox"/> 詳細図 | ・・・ P3 | <input type="checkbox"/> シーラントボトルの交換 | ・・・ P9 |

この度は、レアマイスター Pro ResQ パンク応急修理キットby Airman をお買い求め頂き誠に有難うございます。

本製品は直径6mm以下の傷によるパンクを一時的に応急修理し、近くのガソリンスタンドやタイヤショップ(走行距離200km以内、制限速度80km/h以下)までの走行を可能にする製品です。(損傷箇所、具合により応急処置が出来ない場合もございます。)

また、日常の空気圧点検にも使用できますので、定期的なタイヤの空気圧チェックをお勧め致します。この取扱説明書では本製品の使用方法・注意事項を説明しております。

本書をよく読み マニュアルに従って安全に使用してください。

製品の免責について

本製品の誤使用や本来の目的以外の使用により、使用者あるいは第三者が被った損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので御了承ください。

—安全に使用するために—

- 本製品を使用する前に、本書をよく読み マニュアルに従って作業してください。
- 本製品専用のシーラントをお使いください。
- 本製品を使用する際、車を他車の走行の妨げにならない、安全な場所に車を停めてハザードランプあるいは、三角表示板を置いて他車のドライバーに注意を促してください。
- 作業中は、車両のバッテリー電圧が下がらないようエンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本製品を使用中はその場から離れないでください。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い上の注意事項

応急修理用シーラント液:

- 絶対に飲用しないで下さい。飲用すると人体に危害を与えます。
- 万が一、シーラントを飲み込んだ場合は、直ちに 医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合、炎症を起こす恐れがあります。万が一、目に入った場合は水でよく洗い流してください。また、皮膚に付着すると、稀にアレルギー反応が起こる場合があります。皮膚に付着した場合は水でよく洗い流してください。いずれの場合も 異常を感じた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- シーラントが衣類に付着するとシミになる恐れがあります。
- シーラントがホイールや、車体に付着したまま放置すると取れにくくなる場合があります。
- 作業中は、飲食や喫煙はしないでください。
- 屋内では使用しないで下さい。
- 専用容器以外でのシーラント液の保管はしないで下さい。
- 本製品のシーラント液には、エチレングリコールを使用しております。使用期限を過ぎたシーラント液、作業後のシーラント液、シーラントボトルの処理は、地域条例に従い廃棄してください。

エアークンプレッサー:

- オーバーヒート、故障の原因になりますので、10分以上の連続使用はしないで下さい。
- シガーソケット以外から電源を取らないでください。
- 雨天時にはエアークンプレッサーに直接雨がかからないようにご使用ください。

取り扱い上の注意事項

- 本製品は直射日光、雨、油脂類、熱源を避けて、車両のトランクなどに保管してください。
- -30から+70度Cの温度で保管、使用してください。
- 使用期限の過ぎたシーラントは使用せず、新しいシーラントに交換してください。
※シーラント使用期限:シーラントボトル側面へ記載
(例)EXP:10/2018=2018年10月まで

※本書の内容は、予告無く変更されることがあります。

下記の状況下では使用出来ません。専門店にご相談ください。

- ・直径6mm以上の傷がある場合。
- ・パンクによりタイヤの空気が完全に抜けている場合。
- ・ホイールやホイールのエアバルブが損傷している場合。
- ・1本のタイヤに2箇所以上の破損がある場合。
- ・タイヤがホイールから外れている場合。
- ・複数のタイヤがパンクした場合。
- ・パンク部分の破損が激しい場合やタイヤサイド部分の傷によるパンク、低空気圧での走行によりサイド部分にダメージがある場合、本製品での補修はできません。

使用可能タイヤについて

国産車/輸入車 チューブレスタイヤ専用

- ・軽自動車純正装着サイズ、コンパクトカー純正装着サイズ使用可能
- ・普通乗用車純正装着サイズ使用可能(※下記サイズ除く)
- ・インチャップタイヤ使用可能(※下記サイズ除く)
- ・SUVタイヤ使用可能(※下記サイズ除く)

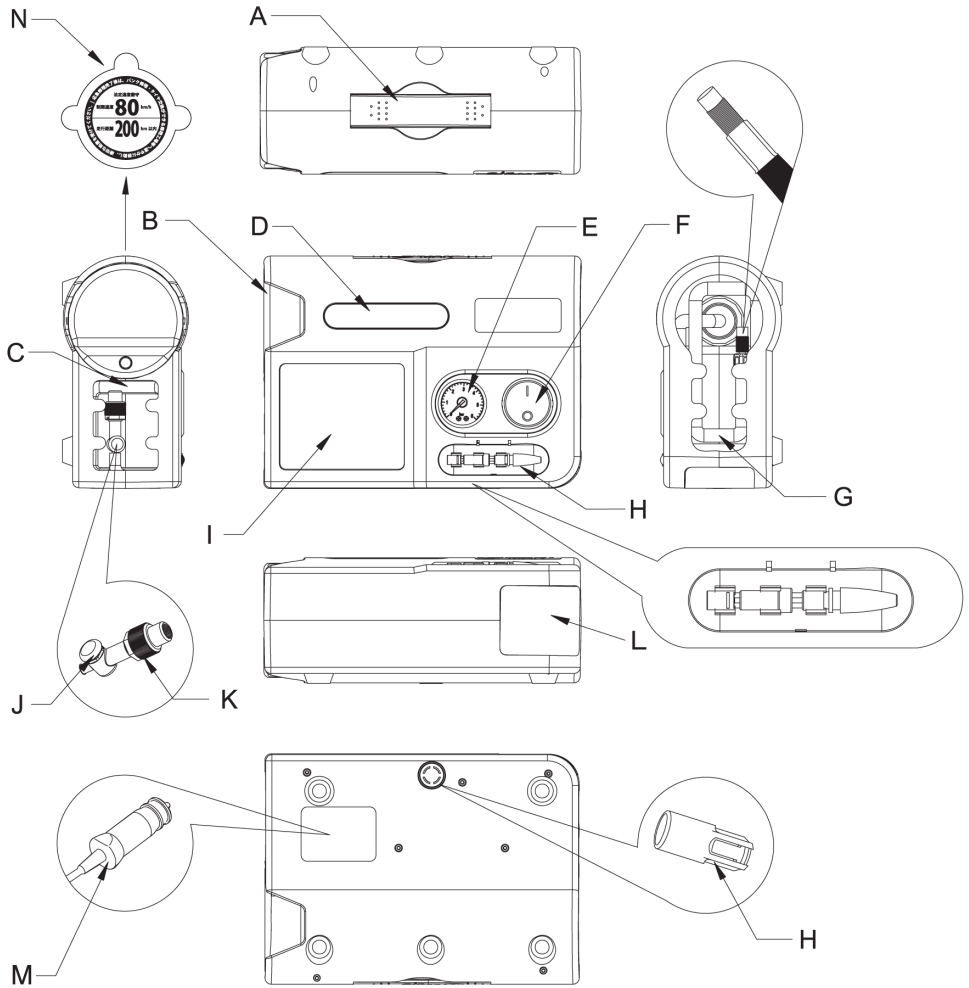
使用不可能/不適合サイズ

- ・TPMS(タイヤ空気圧センサー)を使用しているタイヤには影響を与える恐れがございます。ご注意ください。
- ・指定空気圧2.7barを越えるタイヤサイズへの使用は出来ません。
- ・タイヤサイズの大きい4WD車へは使用出来ません。
(ランドクルーザー / プラド / サーフ / バジエロ / テラノ / サファリ等へは使用出来ません)
- ・商用、バン用タイヤ、トラック用タイヤへの使用は出来ません。
- ・タイヤの内側ヘスポンジなどを装着されている場合は使用できません。

上記の他、使用が出来ないタイヤサイズもございます。下記の使用不可タイヤサイズ一覧をご覧ください。

使用不可能タイヤサイズ一覧

インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ	インチ	タイヤサイズ	
24	305/35R24	20	255/50R20	18	285/55R18	16	295/75R16	
	295/35R24		305/45R20		255/55R18		285/75R16	
	285/35R24		295/45R20		285/50R18		265/75R16	
	275/45R20		295/45R18		245/75R16			
			265/45R20		285/70R17		225/75R16	
23	305/35R23		295/40R20	17	315/70R17		275/70R16	
			315/35R20		285/70R17	305/70R16		
			335/30R20		265/70R17	265/70R16		
22	325/55R22 325/50R22 305/45R22 285/45R22 275/45R22 305/40R22 285/40R22	19	275/55R19		245/70R17	255/70R16	255/70R16	
			255/55R19		285/65R17	245/70R16	245/70R16	
			265/50R19	275/65R17	235/70R16	235/70R16		
		21	295/40R21 325/30R21		275/45R19	265/65R17	225/70R16	
					285/45R19	245/65R17	255/65R16	
20	285/65R20 325/60R20 245/60R20 305/55R20 285/55R20 275/55R20 305/50R20 285/50R20 275/50R20 265/50R20		325/30R19		235/65R17	15	225/80R15	
			215/85R18		255/60R17		215/80R15	
			305/65R18		275/55R17		225/75R15	
			275/65R18		335/35R17		235/75R15	
			265/65R18	16			255/85R16	265/70R15
			235/65R18		235/85R16	255/70R15		
			325/60R18		225/85R16	235/70R15		
			285/60R18		205/85R16	275/60R15		
			275/60R18		215/85R16	255/60R15		
			265/60R18		235/80R16			
			255/60R18	215/80R16				
	245/60R18	315/75R16						

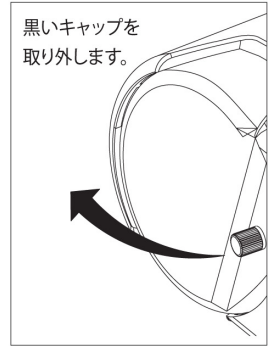
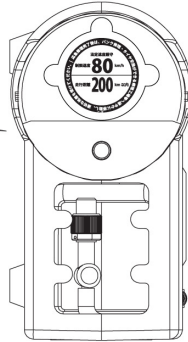
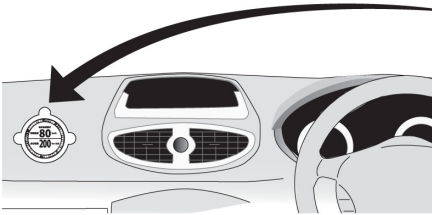


	パーツ名称	パーツ名称
A	ハンドル	本製品を持ち運ぶ際に、本体から引き出し 手提げとして使用してください。
B	シーラントボトル	タイヤを応急処置するためのシーラントが入っています。
C	エアースホース	シーラントボトル、またはタイヤとつなげます。
D	覗き窓	シーラントの残量を確認できます。
E	空気圧計	タイヤの空気圧を示します。
F	パワースイッチ	本製品の電源のオン・オフを操作します。
G	シーラントホース	ホイールのエアバルブとつなぎ、タイヤの中にシーラントを注入します。
H	アダプター	エアースホース(黒)に接続し、ボール・スポーツ用品・ バイクのタイヤなどの空気圧調整が可能です。
I	ラベル	操作方法・注意事項が記載されています。
J	空気減圧ボタン	空気圧が高すぎる時に空気を抜くことができます。
K	ホースコネクター	シーラントボトルとエアバルブ、 また付属のアダプター【G】をつなぎあわせます。
L	ワーキングランプ	電源が入っている場合に点灯します。
M	12V パワーコード	12Vのシガーソケットへ差込みます。
N	シーラント性能シール	応急修理後の制限速度と可能走行距離が記載されています。

応急修理作業を行う前に

- 三角表示板や発煙筒を使用して安全を確保の上、作業を始めてください。
- 応急修理を行う前に、タイヤの損傷具合を確認してください。
- ホイールのエアバルブの位置が下方にくるように停車してください。
- シーラント液の使用期限を確認してください。
- 作業中は、ゴム手袋・保護メガネ等のご使用をお勧め致します。また、作業完了後は必ず手を洗って下さい。

運転席から見えやすい場所に貼り付けて下さい。

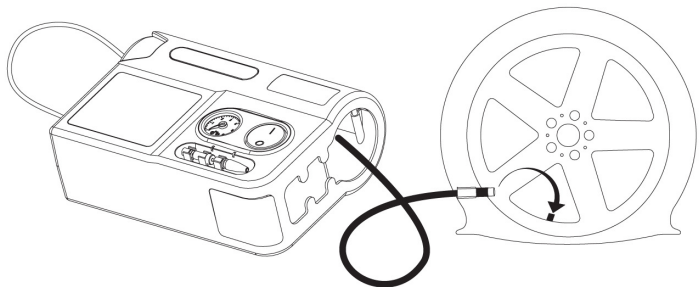
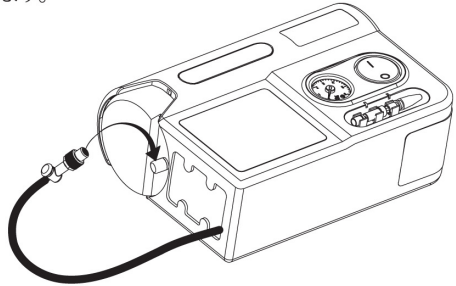


ステップ 1

シーラントボトルのステッカーを剥がし、作業完了後 法定速度(上限速度80km/h 以下)で走行するために見えやすい場所にはがしたステッカーを運転中見えやすい場所へ貼りつけて下さい。その後、シーラントボトルの黒いキャップを取り外します。

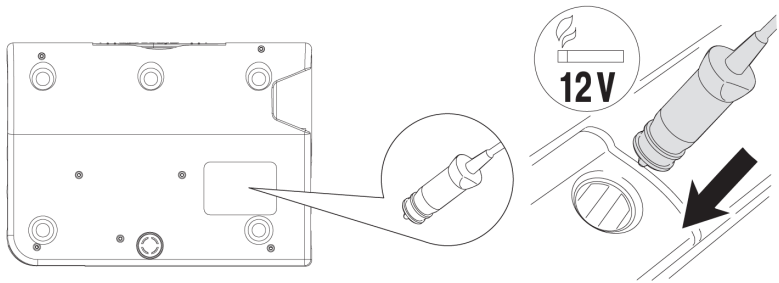
ステップ 2

本体のエアホース(黒)とシーラントボトルのコネクターをつなぎあわせませす。完全に接続されるまでしっかりとノズルを回します。



ステップ 3

シーラントがスムーズにタイヤに入るようにホイールのバルブから汚れ(土・ホコリ)などを拭き取ります。次に、シーラントホース(赤)のノズルとタイヤのバルブをつなぎ合わせ、しっかりとノズルをまわします。安全の為、再度シーラントホース(赤)とバルブがしっかりと接続されていることを確認します。

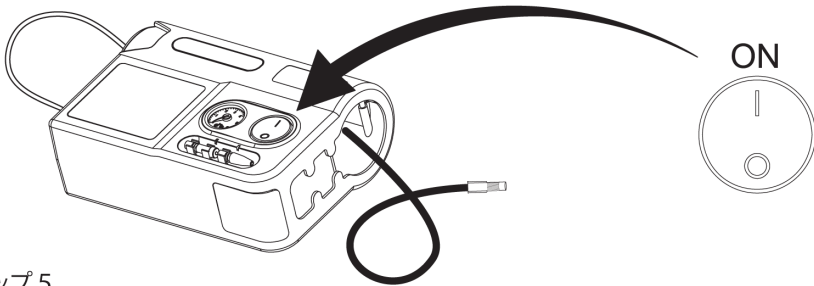


ステップ 4

スイッチがオフの状態であることを確認します。

本体の12Vコードを車両のシガーソケット(12V)へ接続します。

車のハザードランプが点滅している事を確認し、車両のバッテリーが上がらないようにエンジンをかけた状態にします。



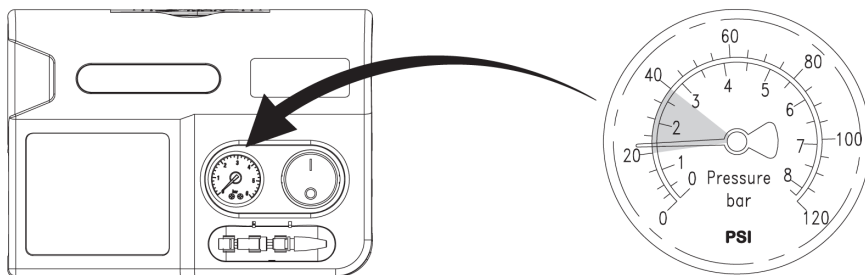
ステップ 5

12Vコードと各ホースが正しく接続されていることを確認して下さい。

スイッチをオンにしたら、覗き窓から見えるシーラントの位置が左から右に移動するのを確認します。(空気圧が、7bar以上を指した場合やシーラントが移動しない場合は直ちに本体のスイッチをオフにし、本製品販売店にご相談ください。)

※ 注意

- ・ シーラントをタイヤへ注入し始めの際、一時的に空気圧計が4.5barを越えることがありますが、問題はございません。シーラントがタイヤ内へ注入されると正常値に下がります。



ステップ6

シーラント注入しながら、数分後に空気圧計が車両の※指定空気圧になるように調整を行います。

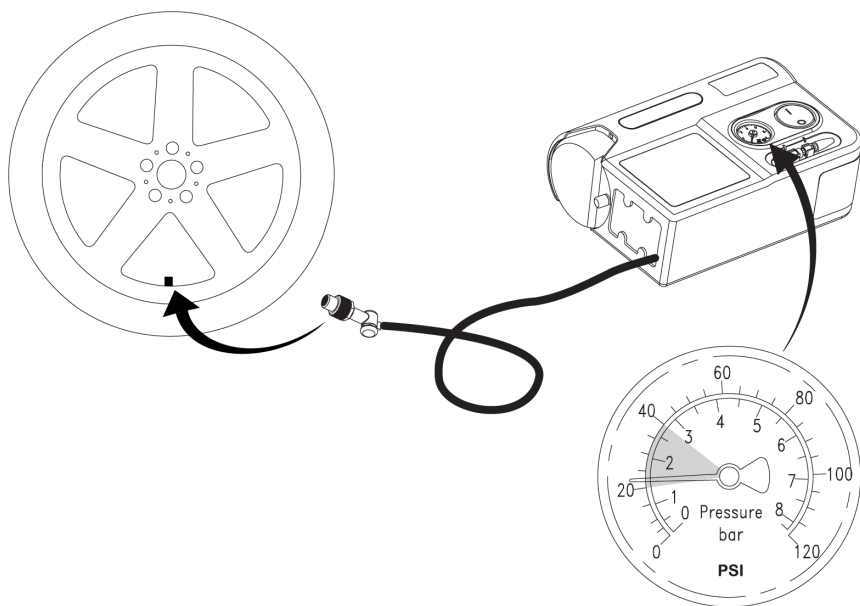
※指定空気圧より0.5bar程高めに設定することをお勧めします。(作業中に多少の空気が抜けるため) 適正な空気圧になったことを確認後 本体のスイッチをオフにし、コンプレッサーを停止させます。

※ 注意

- ・ 指定空気圧は、指定空気圧表示ラベル(運転席周辺、燃料給油口付近など)でご確認ください。
- ・ 指定空気圧がわからない場合、黄色ゾーンに空気圧が保たれていれば安全な範囲であることが確認できます。
- ・ タイヤの空気圧が黄色ゾーン以内であることを確認して下さい。
- ・ この時点で黄色ゾーンに達することが出来なければ、本修理キットで修理を行うことは出来ません。
- ・ 作業中はホースが熱くなります。やけどをする恐れがございますので、冷めるまで触らないで下さい。
- ・ シーラントがタイヤの損傷箇所から少量漏れる場合がありますが、異常ではありません。

ステップ7

ホースが冷めたら、パワーコードを車両のシガーソケットから外し、タイヤのエアバルブからホースを外しバルブキャップを締めてください。



ステップ 8

約3kmほど走行した後、もう一度タイヤのエアバルブと修理キットのエアホース(黒)をつなぎ合わせ、空気が適正値で保たれているか確認して下さい。

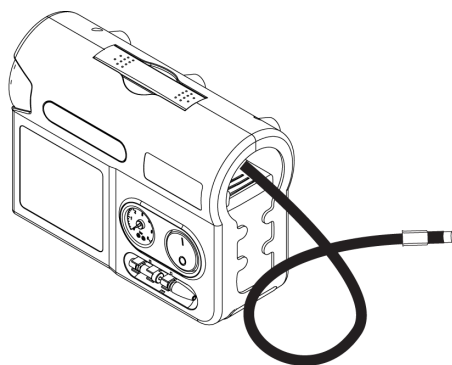
この時、タイヤ空気が1.4bar(黄色ゾーン)を下回っているようであれば、自走を止め、修理工場などに相談して下さい。このような症状の場合は本修理キットでの補修は出来ません。

※ 注意

- 作業完了後、可能な限り速やかに車両を 最寄りの修理工場、タイヤショップ、カーショップ、ガソリンスタンド等へ移動してパンク修理もしくは、タイヤ交換等適切な処置を受けて下さい。作業依頼時に、タイヤ内に【液体応急パンク修理剤】が封入されている旨を必ずお伝え下さい。
- 走行時(距離200Km 速度80km/h)を超えないよう法定速度で走行して下さい。
- 使用後は、本製品の販売店で新しいシーラント液をご購入下さい。

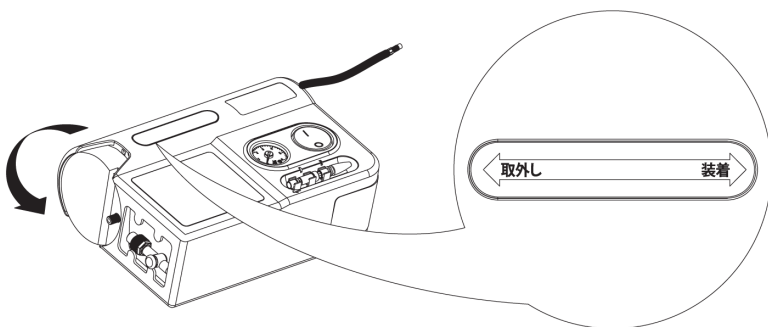
— シーラントボトルの取替え方法 —

本製品でタイヤ修理を行った後、シーラントボトルを新しいものに交換してください。
シーラントボトルのお求めは、本製品の販売店へお問合せください。



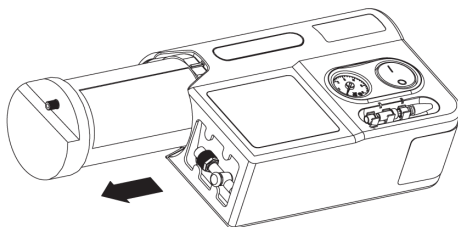
ステップ 1

空になったボトルを取るため、シーラントホースを収納部分から外します。



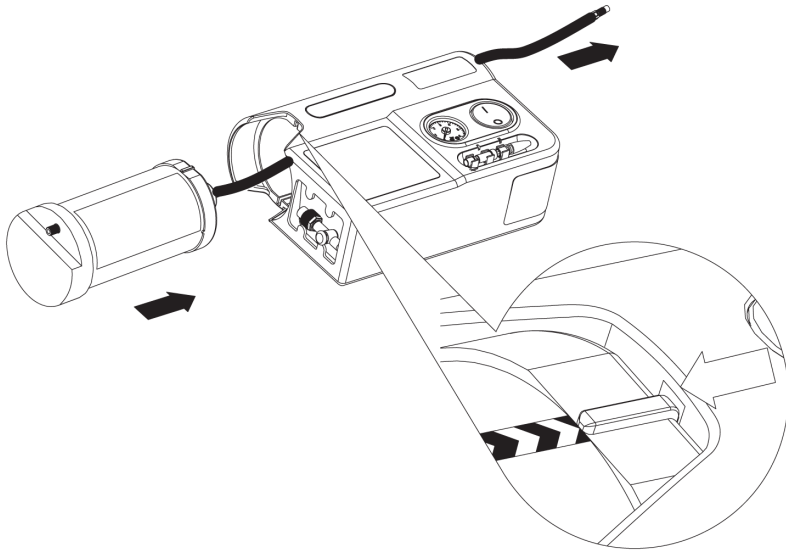
ステップ 2

覗き窓に「取外し / 装着」という文字が見えるまで逆時計周りに回します。



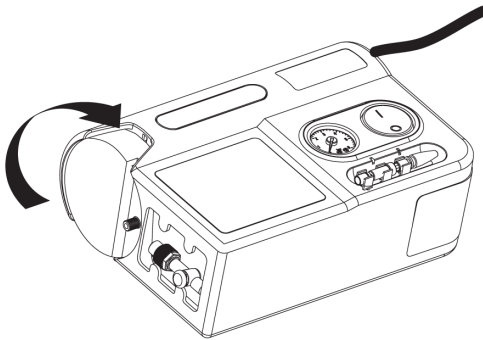
ステップ 3

ボトルを取り出します。



ステップ4

シーラントホースを通して、ボトルの凸部分とコンプレッサーの凹部分を合わせてボトルを差し込み、視き窓に「取外し / 装着」という文字が見えている状態で差し込みます。



ステップ5

カチッと止まるまで時計回りに回します。すぐに使わない時は各ホースを収納することも出来ます。



タイヤ交換・修理作業依頼時には、
作業員へ【液体応急パンク修理液】が
封入されている旨を必ずお伝え下さい。

本製品のシーラント液には、エチレングリコールを使用しております。
使用期限を過ぎたシーラント液、作業後のシーラント液、シーラントボトルの処理は、
地域条例に従い廃棄してください。